

分類 5-1 地域の繋がりを強化する自治機能の充実

日常生活のみならず災害などに備えた地域コミュニティの維持・確保が重要であることから、地域課題に即した細やかな自治会支援を実施するとともに、地域の人材育成支援を推進することで地域のつながりの強化を図ります。

施策1 地域の自治機能の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	地域コミュニティが希薄化している中で、高齢化や人口減少が進むと、地域の自治機能が低下する恐れがあります。特に、日常生活や災害時に住民同士の支え合いが不足する可能性があります。	持続可能な地域社会を実現するためには、地域住民、事業者、行政が連携してまちづくりを進める必要があります。そのため、地域のイベントや行事に参加する機会を増やし、主体的なまちづくり活動を行う住民団体に対して支援や育成を行います。また、協力してまちづくりを進めるための取り組みを積極的に支援します。 自治会活動は地域コミュニティの基盤であり、持続可能な自治会運営と活性化への取組を支援するとともに、行政依頼事務を見直し負担軽減への対策を行います。 さらに、増加している外国人居住者を含む地域住民による共助活動について、継続的な支援を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域協働推進事業 ・ 多文化共生事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、一人ひとりが地域を支えていることを踏まえ、積極的な地域活動への参画や自主的な町のにぎわい向上に取り組むことが望まれます。
- 事業者においても、地域住民の一人であることを認識し、地域における行事やイベントへの参画を通じて平時・緊急時を通じた地域との協働関係の構築を推進することが望まれます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	中井町の人困ったときに助けると感じる	3.45	3.49
施策指標	自治会や地域行事などへの町民参加が促進される自治機能の充実を図る	3.18	3.27

出典：中井町民Well-Being意識調査

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

分類 5-2 地域福祉の充実による地域の支え合い

誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らせる、福祉のまちづくりの充実を図るため、福祉的な環境の整備や地域支援ボランティア活動の支援などを行います。

施策1 地域福祉の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	社会の変化により、住民同士の支え合いが薄れてきています。その一方でさまざまな世代において福祉的な支援を必要とする人は増えていますが、支援を行うボランティアも減少しており、地域での支え合いが難しくなる恐れがあります。	福祉的な支援が必要な地域住民を支えるために、民生委員・児童委員の活動をサポートします。また、地域福祉の中心となる社会福祉協議会が運営する地域包括支援センターの運営や、ボランティアの育成、相談機能の充実にも支援を行います。さらに、住民の自主的な活動の拠点となる境コミュニティセンターや集会施設を適切に管理・運営し、地域での支え合いを促進する福祉のまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員・児童委員運営事業 ・ 社会福祉協議会運営補助事業 ・ 包括的支援事業・任意事業 ・ 生きがい対策事業 ・ 境コミュニティセンター管理事業 ・ 地域集会施設管理運営事業

施策2 障がい福祉の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	障がいのある方もない方も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける「ノーマライゼーション」の理念の実現に向けて、障がい福祉サービスの充実や社会参加の推進を図る必要があります。また「ノーマライゼーション」の理念は町民に少しずつ浸透していますが、多様性のある社会やまちづくりを進めるためには、町民一人ひとりの意識的な取組が重要です。	障がいのある方が中井町でその人らしく安心して暮らせるよう、障がい福祉サービスの提供を行う事業所を活用し、ニーズに応じた障がい福祉サービスを提供することが必要です。加えて、就労を希望する障がいのある方の支援も事業所等と協力して行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉総務事業 ・ 地域生活支援事業 ・ 自立支援給付事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、家族のみならず地域・近隣住民への支援を通じて、地域全体での支え合いを可能な範囲から取り組むことが望まれます。
- 事業者においても、障害者雇用促進法に基づく障がい者の雇用を着実にを行うとともに、可能な範囲での一層の雇用促進に取り組むことが望まれます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	中井町の人と良い関係が築けていると感じる	3.57	3.76
施策指標	住民同士の支え合いなどの地域の関係性が生まれるよう取り組む	3.15	3.26
	障がいなどを持っている人も平等に暮らすことができるよう取り組む	2.87	3.00

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町地域福祉計画
- 中井町第4次障がい者計画
- 中井町第7期障がい福祉計画・中井町第3期障がい児福祉計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

分類 5-3 多様性を尊重する共生社会の実現

社会課題が複雑化する中で、多様な考え方や価値観を持つことが求められています。価値観の違いを尊重することは、社会の成長につながります。本町でも外国人居住者が増えており、共生社会を実現するために理解を深めるための事業を実施します。

施策1 共生社会の推進

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	外国人居住者の増加など、住民の多様性が進展する中、地域の活力を維持し、理解し合う環境を構築するため、外国人に対する日本語教室や多文化共生に関する支援が求められています。また、誰もが活躍できる地域を実現するため、男女共同参画支援や人権普及啓発などが必要です。	町民一人ひとりが多様性の重要性を認識し、お互いを思いやることができる共生社会を実現するため、講演会などを開催し、意識向上を図ります。 また、外国人住民に日本の生活についての理解を深めるため、日本語教室実施への支援を行います。日本人に対しては外国文化の理解を促進する共生事業を実施し、日常生活の中での交流を推進します。 さらには、デジタル技術を活用しながら、多様性を尊重する社会の実現に向けて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none">・ 男女共同参画推進事業・ 多文化共生事業(再掲)・ 人権普及啓発事業・ 人権教育事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、一人ひとりが異なることを踏まえ、互いを思いやる気持ちを持ち、違いを認識・理解するよう努めることが望めます。
- 事業者は、男女共同参画社会基本法や女性活躍推進法などに基づく取組に加え、多様性が新たなイノベーションの源泉であることを認識した雇用環境の充実に向けた取組などが望めます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	ありのまま、等身大の自分でいられる	3.55	3.77
施策指標	多様な意見や考え方を理解し受け入れられる社会の実現に取り組む	3.20	3.40

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町男女共同参画プラン改訂版

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (2)稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

分類 5-4 交流拠点の維持・整備による地域の繋がり

本町で暮らす人々が楽しく明るい気持ちになれる場所・空間がまちづくりにおいて重要であることから、引き続き里都まち交流拠点の適切な維持・運営を行うとともに、公共公益性の高い施設が立地する町役場周辺地区は、公共サービス機能や交通結節機能などを活かし、本町の魅力の向上に寄与する文化機能、交流機能などの向上に取り組むことで、多様な交流を促進します。

施策1 つながりを生み出す交流の促進

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	里都まち交流拠点を中心とした中井中央公園は、地域住民だけでなく町外の人々も多く訪れ、様々な世代が交流する憩いの場となっています。また、地域拠点である役場周辺にも、新たな文化交流施設が求められています。	交流拠点では、スポーツや文化のイベントを実施し、町内外からの来訪者を増やすことで本町のブランド価値向上にも寄与します。 老朽化した農村環境改善センターは解体し、新たに生涯学習施設を整備します。この施設は現代のニーズに応えた学びや地域交流の場となり、幅広い世代の人々が集まり、学び・憩い・交流ができるように、地域の意見を反映した整備や運営体制の検討を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里都まち交流拠点運営事業 ・ 生涯学習施設建設事業 ・ 役場周辺拠点整備事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、中井町で暮らすことで楽しく明るい気持ちになれるよう、交流拠点のみならず、人々との繋がりなどから中井町での暮らしや町に対する誇りや愛着を持つことが望まれます。
- 事業者においても、里都まち交流拠点等で実施されるイベント等への従業員を含めた積極的な関与などにより賑わいの実現に貢献することが望まれます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	中井町には、楽しく明るい気持ちになることができる場所や機会がある	3.16	3.41
施策指標	地域住民のつながりを生み出すような誇りに思える場所を作る	2.85	3.00

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- なかい教育ビジョン
- 中井町生涯学習施設建設基本構想
- 中井町生涯学習施設建設基本計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生